

広報 しばた



コロナに負けず、健康づくり

船岡城址公園を中心に活動している「さくらウォーカーズ」の皆さん。新型コロナウイルス感染症の影響により、自粛していた活動を再開しました。マスクやソーシャルディスタンスを保つなどの感染症対策を講じ、ノルディックウォーキングに励んでいます。(写真: 7月18日(土) 船岡城址公園)

特集1

仲間と共に歩んだ3年間 中学3年生最後の部活動

例年であれば、中学3年生は、3年間の部活動の集大成となる各大会やコンクールなどの晴れの舞台での活躍を最後に後輩へバトンを引き継ぐはずでした。

しかし、今年は、新型コロナウイルス感染症の影響による学校休業で、その間の部活動が休止、また、各大会やコンクールなども中止を余儀なくされました。

3年生は、それぞれの目標に向かって共に日々の練習に汗を流し歩んできた仲間と、その成果を発揮し最も輝くはずであった舞台が無くなり、とても悔しい思いをしています。

部活動を引退していく3年生は、悔いが残りますが、仲間や厳しい中にも愛情をもって指導してくれた先生方、温かく見守ってくれた保護者の方々に感謝し、そして後輩に自分たちの思いを託し、残りの中学生生活をしっかりと前を向いて進んでいくことでしょう。

問 まちづくり政策課 TEL54-2111

バスケットボール部



船迫
中学校

バドミントン部



剣道部



野球部



部活動を通して



剣道部
かとう 加藤 優弥 さん

私は、中総体での団体優勝を目標に仲間と努力してきました。中総体が中止になったと聞いた時、「あっけない終わりだなあ」と少し寂しく思いました。
しかし、これまでの活動を振り返って、その努力は無駄ではなかったと思っています。
厳しい練習に耐える精神力や体力、それから挨拶などの礼儀も身に付いたと思います。何より、これまで一緒に頑張ってきた仲間ができました。
交流会では、今まで支えてくださった全ての方への感謝を胸に、これまで大切にしてきた「チームで戦う」気持ちで全力で戦います。

吹奏楽部



ソフトテニス部



バレー部



サッカー部



卓球部



ソフトボール部



私は3年間部活動を続けてきて、練習がつかかったり、悔しかったりすること、もたくさんありました。また、部長という立場を任されて大変なこともありましたが、それ以上にとっても楽しかったです。交流会本番も全力で楽しみな而战つてきます。

3年生にとって最後の大会が中総体でした。中総体に向けてたくさん練習して頑張ってきました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になってしまいました、本当に残念な気持ちです。中総体が中止になった分、最後の大会となる交流会を一生懸命頑張りたいです。



ソフトボール部
すずき あやみ
鈴木 彩水さん

交流会に向けて

それでも、今は交流会という最後の戦いの場を与えていただいたので、最大限の力を発揮できるように、気持ちを切り替えて頑張りたいと思います。対戦相手は僕のライバルなので楽しみです。それまでにより良い状態に仕上げたいです。

3月から学校が休校になりましたが、中総体は行われると思っていたので、新人戦の悔しい結果を覆すために、毎日筋トレやランニングなどを欠かさず行っていました。

しかし、予想以上にコロナが広がり、中総体中止が伝えられた時はショックでぼう然としてしまいました。



卓球部
さとう せい太
佐藤 成太さん

交流会に向けて

船岡 中学校

バドミントン部



サッカー部



ソフトボール部



男子卓球部



女子卓球部



男子バレー部



女子バレー部



陸上部



走り続ける



陸上部
うちだ はやと
内田 隼翔さん

僕は3年間、陸上部の部長をやってきました。1年生の時は100mで優勝し、2年生の時は準優勝。リレーでは優勝。駅伝では区間賞で総合2位。いよいよ3年生。全てで優勝を目指すべく意気込んでいましたが、その矢先に新型コロナウイルスの影響で3カ月の休校。それでも大会に向けて、自主トレに励んでいました。全ての大会が中止。このまま終わってしまうのかと落ち込みました。

今回、交流会を開催してもらえるところで練習を頑張っています。コロナに負けることなく、僕はこれからも走り続けていきたいと思います。

船中女バレーへの思い



女子バレー部
わたべ なお
渡部 音々さん

中学ラストの総体。形が変わってしまっても、私たちの試合にける思いは何一つ変わりません。今までの努力を全力で生かす試合にします。

練習のサポートをしてくれた1年生。一緒に試合をしてきた2年生。入部してからずっと支え合い高め合った3年生。このメンバーでしかできないプレーで、最後までボールを上げようと思います。

また、中総体の代わりに、交流会というラストチャンス。私たちに設けてくださり、本当にありがとうございます。

最高に輝く試合にしたいと思います。

野球部



剣道部



男子・女子バスケットボール部

水泳部



女子ソフトテニス部



男子ソフトテニス部

吹奏楽部



美術・写真部



柔道部



新型コロナウイルスの影響により中総体が中止になり、一度は落胆しました。ですが先生方のおかげで交流会ができるようになり、新しい目標ができました。その目標のために部活動に取り組んでいます。

しかし、柔道は三密になりやすいスポーツなので、いつまた部活動ができなくなるか分かりません。いつものように部活動ができることに感謝して、柔道に取り組みます。自分たちが最後に輝ける場所をつくってください。先生方への感謝を忘れず、残り少ない活動時間を集中して取り組み、交流会に向けて柔道部員みんなで頑張っていきたいと思っています。

新しい目標



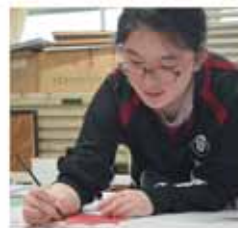
柔道部 吉野 琉功さん

美術・写真部も新型コロナウイルスの影響を受けました。まず、合同美術部展が中止になりました。いろんな学校の作品を見ることができず美術部展を私はとても楽しみにしていました。中止になってしまいました。中絶です。

他には、休校日が続き、なかなか部活動が始まりませんでした。だから、卒業した先輩との別れがしっかりできませんでした。先輩方にはお世話になったので、とても悲しいです。

部活動では、不自由な部分もまだまだありますが、充実した活動ができるよう頑張りたいです。

部活動への思い



美術・写真部 富谷 美桜さん

槻木 中学校

剣道部



男子バドミントン部



女子バレー部



女子テニス部



男子テニス部



女子バドミントン部



中総体中止



女子バドミントン部
いしがき はるか
石垣 遥さん

私が目標にしていた県中総体出場が新型コロナウイルスによって失われました。正直いまだに信じられません。そして交流会では仲間と声を出し合う事も、円陣を組む事もできません。最後がこんな形で終わるとは思ってもいませんでした。

でも、こんな中でも交流会ができることを幸せだと思ひ、精一杯プレーしようと思います。そして2年生の皆さん、私達3年生の分まで新人戦、中総体と結果を残して県大会まで行ってください。応援しています。最後に3年間支えてくれた仲間、先生方、本当にありがとうございました。

3年間を振り返って



男子テニス部
あさの はるみち
浅野 春倫さん

僕たちテニス部は、現在交流会に向けて練習を頑張っています。最後の大会である中総体が無くなってしまったのはとても残念ですが、今は交流会に向けて気持ちを切り替えています。

3年間の部活動を振り返ると、あまり良い結果を残すことはできませんでしたが、日々の練習で仲間と協力し合い、楽しい部活動を行うことができたと思います。

今の1、2年生には、大会で良い結果を出せる実力が十分にあるので新人戦や中総体で頑張ってもらいたいと思います。

交流会では、悔いの残らないような試合をして最後は笑顔で終わりたいです。

卓球部



野球部



サッカー部



男子バスケットボール部



美術・写真部



吹奏楽部

休校中に郡中総体の中止の知らせを聞いたときは、予想はしていたものの、とてもショックでした。そんな中でも、休みの間は一人でのシュート練習やランニングなどを続けていました。でも長い休みがあったからこそ気付いたこともたくさんあります。周りの人からのサポートや応援を、再開後はとても感じる事ができました。

現在、女子バスケット部は出来る範囲内での練習を一つ一つ大切にしながら取り組んでいます。交流会では、チームみんなが協力し全力で戦い抜くゲームをしたいです。みんなと共にバスケットをした3年間はとても楽しかったです。3年間を支えてくれた方に改めて感謝したいです。



女子バスケットボール部
やまだ あかり
山田 朱莉 さん

3年間を振り返って

私たち吹奏楽部は、夏のコンクールに向けて、基礎から見直し頑張っていました。心一つに練習していました。しかし、新型コロナウイルスの影響でコンクールは中止となりました。部員一同、特に3年生は、残念な気持ちでいっぱいでしたが、今は気持ちを切り替え、最後のステージとなる槻中祭に向けて、前向きに取り組んでいます。

練習では、教え合う時もマスクをするなど、気を使うことがたくさんありますが、工夫して練習に臨んでいます。槻中祭を自分たちがやりきったと思えるように作りあげたいと思います。聴いて下さる方々にも楽しんでもらえるようなステージにしたいと思います。仲間たちとの残り少ない練習を一日一日大切に楽しく頑張っていきたいです。



吹奏楽部
たけだ すずね
竹田 鈴音 さん

槻中祭に向けて

太陽の村

キッズバイクパーク

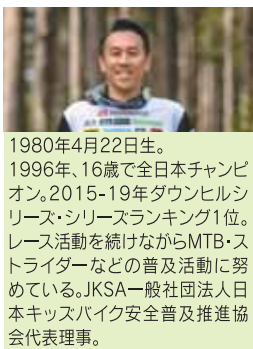
キックバイク マウンテンバイク



柴田町太陽の村に新たなにぎわい拠点 8月1日(土)オープン

太陽の村を子どもから大人まで楽しめる“冒険遊び場”として、キックバイクやマウンテンバイクのコースを整備し、「キッズバイクパーク」としてリニューアルしました。キッズバイクの施設は県内でも少なく、今後は、県外からの参加を含むレース大会の開催も予定されています。

☎ 柴田町太陽の村 TEL56-3970



1980年4月22日生。
1996年、16歳で全日本チャンピオン。2015-19年ダウンヒルシリーズ・シリーズランキング1位。レース活動を続けながらMTB・ストライダーなどの普及活動に努めている。JKSA一般社団法人日本キッズバイク安全普及推進協会代表理事。

天気の良い日にお子さま連れで、またMTBに興味のある町民の方にもチャレンジしていただければと思います。

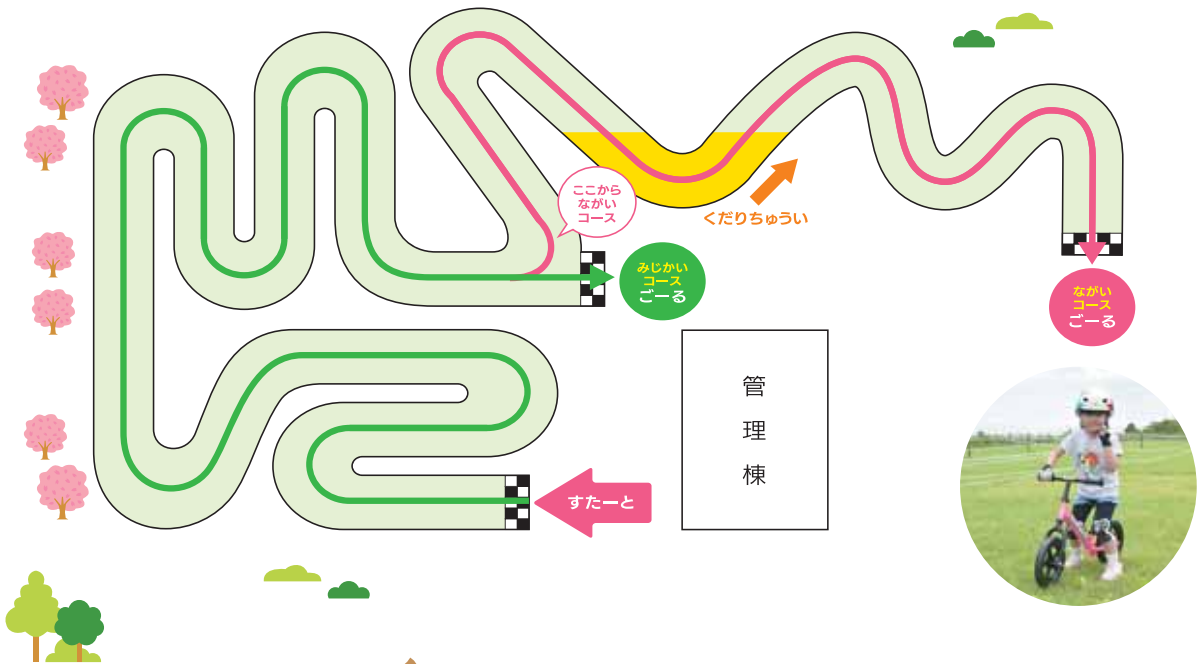
太陽の村キッズバイクパークは標高210mの丘の上であり、コースからは太平洋が見えるという国内屈指の絶景コースだと思えます。

柴田町の皆さん、初めまして。今回、太陽の村の地形や恵まれた自然環境・景観を生かしてキックバイクコースと、マウンテンバイク(MTB)の初心者向けのコースをプロデュースさせていただきます。

絶景コースにチャレンジしてください
プロマウンテンバイクライダー
井出川 直樹さん
い で か わ な お き

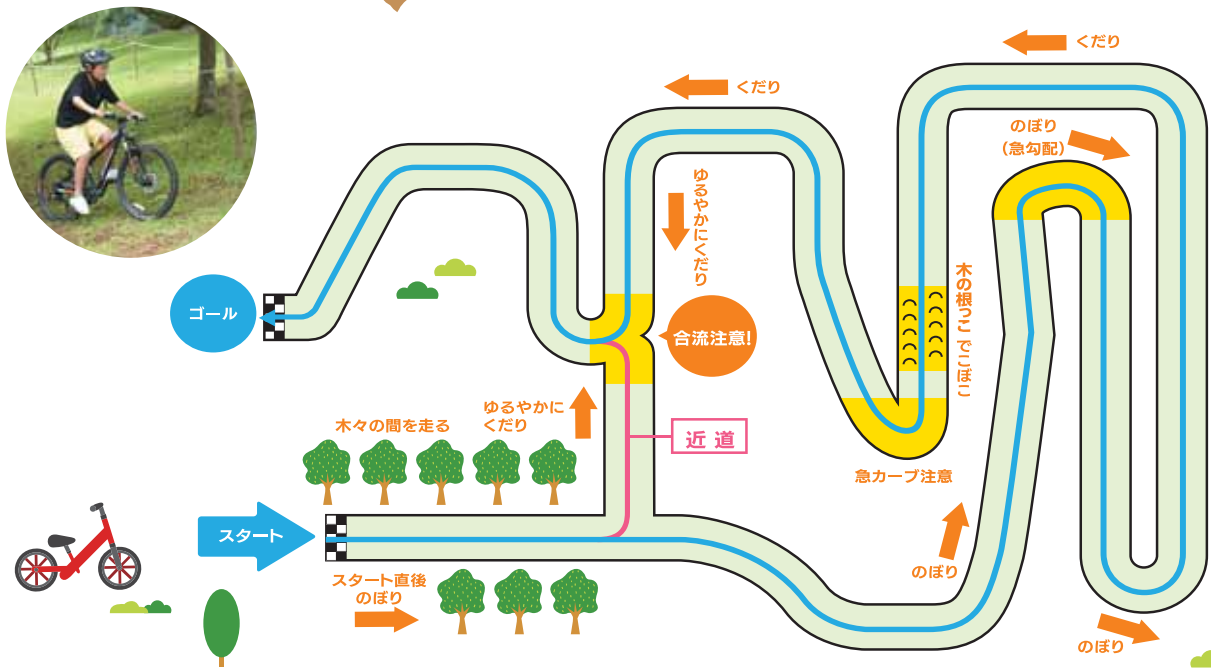
キックバイクパーク

コースのながさ	みじかいコース：約95メートル ながいコース：約150メートル
対象年齢	2歳～5歳



マウンテンバイクパーク

コースのながさ	約265メートル
対象年齢	6歳～大人まで



利用案内

新型コロナウイルス感染拡大防止への対応などのため、当面の間、お試し期間とし、次のとおりとします。

開園日
土・日曜日、祝日

※遠足など、平日や団体でのご利用についてはご相談ください。

利用時間

9時30分～16時30分

利用料金

コース使用料、用具レンタル料：無料

対象年齢

キックバイクパーク

2歳～5歳

マウンテンバイクパーク

6歳～大人まで

コース利用の注意

・利用には管理棟で受付が必要です。

・ヘルメット、ひじ・ひざプロテクター、グローブを必ず着用してください。

西船迫側から太陽の村へ向う道路が通行できるようにしました。



柴田町長 滝口 茂

新型コロナウイルス感染症防止の観点から、「仙台七夕まつり」をはじめ、東北の三大夏祭りが中止になってしまいました。東北人が持つ内に秘めたパワーや熱気を表現する機会を失い、とても残念です。

日本の祭りの起源は、崇高な神々に供物や感謝の念を捧げたことにあるようです。日本には四季折々にさまざまな祭りが数多く行われています。その中でも日本の三大祭りと呼ばれるのが、平安の世から続く王朝文化を伝える京都の八坂神社の「祇園祭」、徳川家康の支援で始まった東京の神田明神の「神田祭」、そして菅原道真を祀る大阪天満宮の「天神祭」です。山鉦巡行や祇園囃子、神楽や山車は、日本人はもとより、外国人の心も魅了しています。

一方、地方においても自然の恵みに感謝し、みんなでその恵みを分かち合い、生きることと共に喜び合う鎮守の祭りが、各地で盛んに行われてきました。

私の幼い頃の思い出の中にも、すつきりと澄み上がった秋空の下、お羽山(太陽の村の東側)に登り、神殿脇で振る舞われた温かい柚子湯を飲んだ記憶が心地よく残っています。

祭りへの想い

町長になってからも、地域の夏祭りや盆踊り大会にお呼ばれています。そこには帰省した子どもたちや孫たちのはしゃぐ姿、幼なじみ同士の思い出話などがあふれ、日頃は静まり返っている古里にもにぎわいが戻っていました。地域のお祭りは、地域のコミュニティ形成には、無くてはならないものです。

しかし、近年各地において、地域から若者が流出し、神楽を踊る人やおみこしを担ぐ人がいなくなってしまう。さらに日本人の心の中から神や自然に対する畏敬の念が薄れてきたこともあり、伝統的な祭りにおいては、その継承が危うくなっています。そのため、祭りの熱気が消えた古里は荒廃するばかりです。祭りを続けられるかどうかは、まさに地域の活力のバロメーター。今後ますます、伝統的な祭りや地域の祭りを続けていくことが困難となって

いく時代を迎え、どのように古里を活気づけていけばよいのか頭の痛いところ。今のところ、これといった名案はないのですが、ここは、日本人の原点に帰って、未来を担う子どもたちに祭りの楽しさや意義や由来を地道に伝え、古里への想いを育てていくしか道はないのではないかと思います。今必要なのは、地域のみならず祭りを復活させることです。

芸術空間

Shibata Art Gallery
No.9

『萌え』(彫刻)

及川 茂

窓の傍らに置いてあった、水の入ったガラスの器にどうして入ったのか、豆が二つ三つ。気が付くと、芽が出て双葉にと成長していく。その姿を観ていると人がこの世に生まれ、育っていく姿に似ていると思いついた制作した作品です。



及川 茂 (おいかわ しげる)
1940年 岩手県生まれ。
槻木在住。

●1957年翁朝盛に師事。1959年創型展初入選。以後、河北美術展河北賞、文化庁第10回県展選抜展、宮城県芸術選奨新人賞、創型展文部大臣奨励賞、宮城県文化教育功労彰、宮城県芸術選奨受賞、宮城県芸術協会50周年感謝状受章など、賞多数。東京、大阪、名古屋など全国で個展を開催するほか、グループ展に出品。



健康推進課 TEL 55-2160 FAX 55-4172

第70回のテーマは、「特定健康診査(特定健診)・特定保健指導を受けよう」です。

特定健診とは

特定健診は、生活習慣病を予防するための健診です。40歳～74歳の柴田町国民健康保険加入者を対象に、無料で実施しています。生活習慣病は、予防や改善が可能な病気ですが、そのためには、まず自分の身体がどのような状態かを確認し、状態に応じて生活習慣を見直すなどの対策が大切です。

受診の流れ

○個別健診(40歳～64歳の方)

受診券が6月下旬までに自宅へ届きます。

町内の実施医療機関で健診を受けましょう
 ※実施時期：7月上旬～9月下旬
 ※地区ごとに期間を前半と後半に分けています。
 ※予約の有無や健診時間・曜日を確認し受診しましょう。

○集団健診(65歳～74歳の方)

受診券が8月中旬までに自宅へ届きます。

健診会場（保健センターなど）で健診を受けましょう
 ※実施時期：8月下旬～9月下旬
 ※指定日に都合が合わない場合は別日程で受診できます。

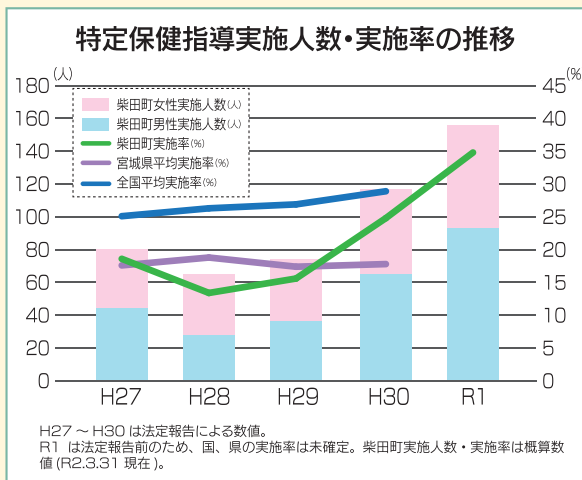
健診結果が届いたら、内容を確認し、ご自身に合った健康づくりに取り組みましょう。

特定保健指導とは

特定健診の結果から、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる方に対して、専門のスタッフ（保健師、管理栄養士など）が生活習慣の見直しをサポートするものです。

柴田町は、対象者に特定保健指導「しばた得！トク健康教室」を行っています。健康教室では、健診結果を踏まえ、6カ月間の改善プログラムを無料で実施します。

これまで柴田町は、実施率が全国平均を下回っていました。しかし近年は、特定保健指導を受ける方が急増していることから、町民の方の健康意識が向上してきていることが分かります。



保健師からのアドバイス

健診結果をしっかりと確認し、医療機関の受診が必要と判断された方は、すぐに受診して重症化を防ぎましょう。特定保健指導の案内が届いた方は、サポートを受けて生活改善を目指しましょう。

告 告

告 告

まちかど NEWS



工事は、着工式後の7月1日から開始され、11月30日までの予定です。

柴田町防災拠点・総合体育館 敷地造成工事着工式

NEWS

6月30日(火)、「柴田町防災拠点・総合体育館敷地造成工事着工式」が船岡字上大原地内(旧不二トッコン跡地)で行われました。

今回の造成工事は、平成7年の町営墓地の造成工事以来25年ぶりとなる、陸上自衛隊船岡駐屯地に所在する第2施設団の第10施設群および312ダンプ車両中隊による部外工事として実施されます。

作業隊長の佐藤大2等陸尉は、「品質管理と安全管理を徹底し、日頃の訓練で培ってきた技術を駆使して作業していきます」と工事への意気込みを述べていました。



自衛隊の訓練の一つとして、さまざまな重機を使い敷地造成していきます。

企業研修に向け町内を視察

NEWS



入間田の古民家「柚子のあぜ道雨乞のかえる」で地域の活動などの話を熱心に聞いていました。

県の事業「農山漁村交流拡大プラットフォーム」の一環で、都市部の企業と連携し、関係人口の創出につなげていくための現地視察が、6月27日(土)に行われました。

首都圏にある企業の研修先の候補地として担当者が町を訪れ、農村の魅力や柴田町里山ビジネス振興協議会の活動に触れ、住民の方との交流を深めていました。

参加者の橋川真一さんは、「住民の皆さんの古里を大切にしたいという思いが伝わってきました」と話していました。

広 告

広 告

夏の楽しい思い出



自分の好きな色の水ヨーヨーをもらって大喜びでした。

7月8日(水)、9日(木)、10日(金)の3日間、西船迫保育園で夏祭り「わくわくニコニコお祭りだ」が行われました。

子どもたちは、的あてや玉入れ、輪投げのコーナーで元気いっぱい遊んだり、プリンに生クリームなどのトッピングをして食べたりと、夏祭りを目いっぱい楽しんでいました。

工藤葉菜ちゃん(5歳)は、「的あてが楽しかったです。的に上手にあてることができました。またやりたいです」と笑顔で話してくれました。

カブトムシに大興奮「昆虫ふれ合い教室」NEWS



子どもたちはカブトムシに夢中でした。

7月16日(木)、西住小学校で昆虫ふれ合い教室が行われ、柴田ロータリークラブから全校児童にカブトムシが贈られました。柴田ロータリークラブでは、10年前から、夏休みの期間に飼育・観察することにより、自然環境について考える機会を持つてもらおうと、町内の小学校へ寄贈を行っています。

カブトムシを受け取った角田陽向君(6年)は、「お父さんと一緒に頑張って育てたいと思います」と話していました。



2班に分かれ、説明を受けながら、区内6カ所の一次避難場所を巡りました。

第17B区自主防災会「防災ウォークラリー」NEWS

7月12日(日)、第17B区自主防災会による防災訓練「防災ウォークラリー(一次避難場所歩き)」が行われました。

参加者は、区内の一次避難場所や避難経路、浸水箇所などを実際に歩いて確認し、防災への意識を高めていました。防災部長の高橋健さんは、「今回初めて行いました。この地区は大雨で道路が冠水し、孤立してしまうところもあります。命を守る行動をとるため、この訓練を生かしてほしい」と話していました。

広 告

広 告



こうほう 文芸

短歌

政治よりコロナニュース優先で
 ドラマは毎日再放ばかり
 マスク付けコロナとつゆとうつとらしい
 合間の青空恋しい季節
 ホトトギス耳をつんざく俳句読み
 ウグイス経読むホーホケキョー
 マスクする熱中症かマスクなし
 感染症かコロナの不安

西船迫 安ヶ平良三

微睡て外耳立てる心地よい
 音符のごとく走り雨降る
 うずまきの蚊取線香なつかしき
 煙ゆつくり家族の面影
 ただいまと言わずにバスを降りた孫
 お迎え婆に「今日は地味だね」
 新型コロナウイルスも懐かしい
 古着ほどいて思案の時に

船岡 伊藤タイ子
 船岡 沢田 順子
 本船迫 森田 眞六
 船岡 大庭 とみ

川柳

夏草や今日も草取り在宅勤務
 幸は全世代型やってくる
 コロナ来て手作りマスク大流行
 杜鵑鳴き声響く里の森
 指先を使ってポケをはね返す

西船迫 鳥井崎七十老
 西船迫 安ヶ平良三
 西船迫 H・G
 槻木 大宮広四郎
 船岡 阿部美代子

マスクでも通学児声安堵する
 ゴーゴーと降る雨恨む大災害
 世渡りは気くばり目くばり物くばり
 コロナ来て我まんと不便で工夫して
 コロナ禍は密の感染各自粛

槻木 加藤 節子
 槻木 加藤 マサ
 船岡 小林 夢子
 槻木 村上 紫寿
 槻木 平間 三郎

俳句

籐椅子に凭れて寛ぐ夕涼み
 コロナ禍で高校球児の舞台消ゆ
 みどり野にイグネ屋敷の島浮かぶ
 万緑や虫くい松の害虫処理
 夏深し暑さの中に金魚鉢
 夏すだれ外の気配をぼかしたり
 たそがれの雲もくれない薔薇の園
 ふる里のせせらぎ連れてほうたる来い

槻木 平間 三郎
 船岡 可沼 妙子
 西船迫 鳥井崎七十老
 西船迫 安ヶ平奈津枝
 船岡 安藤 節子
 西船迫 佐藤 厚子
 西船迫 中野西範子
 石垣テル子

青空を知らぬ私は水中花
 大手門しかと守りし蟻の殻
 まっ白な明日がある夏の星
 草取りて根方に生きる陽の恵
 母に似た人と道づれ濃紫陽花
 切る鎌に群して登る蟻の怒り
 不自由な詩型にひらけ水中花
 あぢさみにかどはかされし昼の間
 若月ノリ子
 大久保和子
 浪山 克彦

制野 千秋
 遊佐 徹
 山家美智子
 三塚 直樹
 及川美沙子

俳句・川柳・短歌に興味があり、こうほう文芸に載せたい方は、はがきなどで8月11日(火)まで応募ください。 図 まちづくり政策課 ☎54-2111

広 告

広 告

広 告

広 告

地域貢献し隊

本校では、安全パトロール隊をはじめ、多くの地域の皆さまに児童の安全を見守っていただき、また、学校支援ボランティアの皆さまには、教育活動に多大なご協力をいただいております。日頃お世話になっている地域の皆さまへの感謝の気持ちを忘れず、地域と共にある学校として充実した教育活動を行っていきたくと考えています。

1 地域の皆さまとの触れ合いの場づくりを通して

毎年4月に、ボランティアの皆さまとの対面式を行っています。昨年度は、1年生を迎える会の参観をさせていただいた後、1年間お世話になる皆さまとの「対面式」を行い、多くの方々にご出席いただきました。

毎年、秋には、ボランティアの皆さまに感謝の気持ちを伝え、交流を深める目的で、児童と一緒に学校給食を召し上がっていただく「昼食会」を行っています。昨年度は、児童が合唱曲を披露したり、クイズを出したりして触れ合い、ボランティアの皆さまからは激励のお言葉をいただきました。



児童とボランティアの皆さまが交流を深めた「昼食会」

2 学区内の中学校や高校との積極的な交流・緊密な連携を通して

本校と船迫中学校の教員同士が年2回、授業を参観し合った後、情報交換の場を持ち、小・中学校間の円滑な接続を目指した取り組みを進めています。また、高学年児童が中学校の部活動を見学したり、お互いの合唱を披露する会を設けたりするなど、児童・生徒間も交流を深めています。

また、柴田高校との連携も図っています。夏休みに行われ、高校生から泳ぎ方を学ぶ「かっぱ教室」は、本校の特色ある教育活動の一つです。

児童が、志教育の一環として、年齢の近い中学生や高校生と触れ合うことで、憧れを抱くきっかけとなり、将来、後輩のために貢献する先輩となってくれることを願っています。



高校生に教わり、児童の泳ぎも上達した「かっぱ教室」

3 花のまち柴田のために…町や地域の環境を守る取り組みを通して

本校は町で唯一「みどりの少年団」を結成し、活動を行っています。昨年度は、「宮城県みどりの少年団大会」に参加しました。また、船岡城址公園などで行われる「植栽会」や、しばた桜まつり開催前の「清掃活動」にも参加し、花のまち柴田のために環境美化に取り組んでいます。

2学期に行う「アタック5」は、全校児童が1～6学年の縦割り班に分かれて、太陽の村を目指して歩く、本校の伝統行事です。活動後には、太陽の村の清掃活動をみんな力で合わせて行います。さらに、今年度は、行き帰りの道路のごみ拾いも行い、地域の環境美化に貢献する活動を取り入れる予定です。



児童が参加した「宮城県みどりの少年団大会」での記念植樹

〔船迫小学校長 杉山 義隆〕

広 告

広 告

建築と土木、両方をこなせる 技士を目指して

株式会社四保工務店

佐藤 翼さん (35歳)

今回は、建築や土木工事の施工や管理を行う、株式会社四保工務店の佐藤翼さんをご紹介します。



現在、東船岡小学校で進められている大規模改造工事。その現場で、工事の記録などの仕事を行っているのが入社3年目の佐藤さんです。高校卒業後、土木工事の作業員や重機のオペレーターとして現場での仕事を経験し、土木施工管理技士の資格も取得してきました。四保工務店に転職してからは、建築部門に配属されています。

「土木の経験はありましたが、建築は初めての分野でした。今は主に写真管理といって、作業工程ごとに写真を撮影し記録を行っています。撮影した写真が完成時の検査で仕様書どおりの施工が行われているかの確認書類として使われます。他にも、職人の方と工事の調整などを行ったりしますね。その際は、こちらから一方的に言うのではなく、相手の話を聞きながら、お互い納得した上で進めていくように気をつけています」と佐藤さんは話します。また、仕事のやりがいについて、「建

築の面白いところは、建物が完成したり、修繕でききれいになるなど、仕事か形として目に見えることです」と話してくれました。

今後の目標について、「建築工事についてはまだまだ勉強中です。建築施工管理技士の資格取得を目指し、建築、土木どちらの仕事もこなせるようになりたいと思っています」と話してくれました。

最後に「新型コロナウイルス感染症対策のため、現場では常にマスクを着用しながら作業しています。これからの暑い時期、経験したことのない厳しい環境の中での作業になりますが、児童の皆さんが早く、きれいな校舎で勉強できるように頑張るので、校舎を長く大切に使うてもらいたいと思います。そして、その校舎で友達と楽しい思い出をたくさん作ってください」と優しく話してくれました。

佐藤さんが携わる東船岡小学校の工事は12月に完成を予定しています。



作業工程を記録する佐藤さん。



株式会社四保工務店
柴田町船岡東3丁目1-13
TEL 54-2340

昭和38年に四保工務店を設立。
昭和58年に株式会社に变更。
民間、公共の土木・建設工事の
施工や管理を手掛ける。
従業員9人

人口と世帯数
(令和2年7月1日現在)



37,602人
(前月比15人減)



18,784人
(前月比2人減)



18,818人
(前月比13人減)



16,009世帯
(前月比17世帯増)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。